

2025年4月1日

各位

会社名 Chordia Therapeutics 株式会社
代表者名 代表取締役 三宅 洋
(コード番号：190A 東証グロース市場)
問合せ先 IR担当 吉良 亜実
TEL : 03-6661-9543
MAIL : ir@chorditherapeutics.com

2025年開催の米国癌学会において
当社パイプラインのデータを発表することが決定

Chordia Therapeutics 株式会社（本社：神奈川県藤沢市、代表取締役：三宅洋）は、2025年4月25日から30日まで米国シカゴで開催される米国癌学会（AACR）年次総会において、新たなデータを発表いたします。

当社パイプラインであるCDK12阻害薬CTX-439およびGCN2阻害薬について2つの演題の発表を予定しており、内容は以下の通りです。

CDK12 阻害薬 CTX-439 に関して予定する発表

抄録番号	1636
演題名	Novel CDK12/13 inhibitor CTX-439 downregulates MCL1 via transcriptional mRNA read-through and synergistically acts with BCL-XL inhibitors for cancer therapy
発表形式	ポスター
予定日時	2025年4月28日 9:00-12:00 (CST)

GCN2 阻害薬に関して予定する発表

抄録番号	1745
演題名	Combining HRI/PERK/GCN2 inhibitor CRD-799 with proteasome inhibitors provides a novel approach to overcoming resistance in multiple myeloma treatment
発表形式	ポスター
予定日時	2025年4月28日 9:00-12:00 (CST)

Chordia Therapeutics 株式会社について

当社は、臨床開発品を擁するがん領域専門の研究開発型バイオベンチャーとして、神奈川県藤沢市を本社として活動しています。 私たちのリードパイプラインである CLK 阻害薬 rogocekib (CTX-712) は、米国での第 1/2 相試験を進行中です。 rogocekib は、がんの脆弱性をターゲットにしており、有望な治療薬としての可能性が期待されています。 また、当社は、リードパイプラインの rogocekib、小野薬品工業に導出された MALT1 阻害薬 CTX-177 (ONO-7018) に加え、CDK12 阻害薬 CTX-439、GCN2 阻害薬など、複数のパイプラインの研究開発に取り組んでいます。 詳細は、当社ウェブサイト (<https://www.chordiatherapeutics.com/>) をご覧ください。